



## I'm a town

Mary Chapin Carpenter

私はカロライナの町 電話やソーダのための廻り道  
ドライバーにしたら なんてことない町  
ルート 25 を行くなら 残り 1 時間の最後のガソリン程度の町  
テキサコのGSとタバコの用しかない 取り残された埃

私は 9 月の桃 道端の屋台のトムロコシ  
私は先住民の言葉 変な抑揚とノロノロした話し方の  
私は墓地の松 ビールの空き缶だらけの  
日陰の涼み場 墓の周りの雑草

私のポーチは 黒人と子供達でたわみ傾くほど  
彼らの眠りは夢で一杯なのに 満足させられない 私はそんな町

私は水なんか流れっこない側溝のある ハイウェイ脇の教会  
私は父と同じバプティスト イエスは私の名が  
記憶と静寂だと知っている 老年は孤独だけ  
私はあなたの目的地じゃない ただ私であるだけ 私はそんな町

私はカロライナの町 野原の広告塔  
コンクリートブロックに乗った タイヤを失くした古いトラック  
私は安物のアメリカ産 バブストブルーリボンビール  
鉄道の謳い文句 “南部鉄道は南部にいません” たわ  
私は田舎道の青年会議所の 看板の裏に追いやられた町  
私はそんな町 私はそんな町 南へと向かう

